



学校だより かわきた



令和8年5月26日
川北町立川北小学校
校長 笹谷 真理子

「自律～自分から～」 「協働～仲間と共に～」 「挑戦～ねばり強く～」

「自分で考える力」の根っこを育てる～毎日の音読～

早いもので5月も終わり6月を迎えます。子どもたちは毎日元気に学校生活を送っています。

さて、最近「子どもの読解力低下」が危惧されています。スマートフォンの普及や動画コンテンツの充実により、短い言葉や視覚的な情報に触れる機会が増え、「長い文章をじっくり読み解く力」を育てる機会が減っていることが一因と言われています。読解力は、国語だけの力ではありません。

算数：文章題の意味を正しく理解し、立式する

理科・社会：資料や教科書から、必要な情報を正しく読み取る

これからの時代：溢れる情報の中から、何が正しいかを見極め、自分の頭で考える

つまり、読解力は「すべての教科の教科書を理解するための鍵」であり、**子どもたちがこれから生きていく上で重要な土台**です。

読解力を鍛える一番の近道は「**毎日の音読**」です。「ただ声に出して読んでいるだけでは？」と思われるかもしれませんが、音読には次のような効果があります。

1. **「言葉の塊」を意識できる**：目で追うだけでは流してしまいがちな「てにをは（助詞）」や言葉の区切りを、声に出すことで正しく捉えられるようになります。
2. **脳がフル回転する**：「目で文字を見る」「声に出す」「自分の耳でその声を聴く」という3つの動作を同時に行うため、脳の学習をつかさどる部分が活性化します。
3. **集中力と記憶力がアップする**：黙読よりも内容が頭に残りやすく、文章のリズムが身につきます。

■ 保護者の皆様へのお願い：5分間の「聴き手」になってください

今年度本校では、ほぼ毎日音読の宿題を出しています。お仕事や家事で忙しい毎日の中、毎日の音読カードのチェックは大変なことと思いますが、子どもたちにとって「お家の人に聴いてもらうこと」は何よりの励みになります。

上手に読めた時はもちろんですが、つかえてしまっても焦らず、最後まで読めたら「昨日よりスムーズに読めたね」「気持ちがかもっていて情景が浮かんだよ」など、具体的に褒めてあげてください。

最初から完璧を求めず、まずは「1日5分、教科書を声に出して読む」という習慣の継続を、一緒に見守っていただければ幸いです。

5/13「1年生を迎える会」

縦割り班で、自己紹介やフラフープリレーを通して仲良くなりました。
運営委員や6年生が大活躍でした！

